

社会福祉士・医療ソーシャルワーカー学科

3つのポリシー

ディプロマポリシー

社会福祉士・医療ソーシャルワーカー学科は、「福祉・医療現場において、対象者の限定された生活部面の支援に留まらない、その人らしい社会生活の実現に向け、踏み込んだソーシャルワーク実践ができる人材を輩出する。」ことを養成目的としています。

この養成目的と教育目標を達成するために卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 多業種と連携するために必要なコミュニケーション能力を身につけている。
2. 社会福祉士およびキャリアコンサルタント国家資格取得に必要な知識と技術を身に付けている。
3. 支援対象の状況と課題を客観的・共感的に捉え、福利の向上とアドボカシーの観点から支援を構想できる。
4. ソーシャルワークを展開するために必要とされる専門知識・技能・価値観を身につけ、社会や環境の変化とともにそれらを常に更新する意識を持つことができる。

カリキュラムポリシー

実践力を持った社会福祉士およびキャリアコンサルタントを育成するための職業人教育のカリキュラムを提供します。プログラムの柱を以下に示します。

1. 国家試験に合格し、社会福祉士およびキャリアコンサルタントとして活躍できる基本的な知識・技術を習得できる学びを提供します。
2. 社会福祉士、キャリアコンサルタントの二つの資格取得により、心理的支援や社会復帰・社会参加支援にも対応できる専門性を身に付けます。
3. 二年制学科の特性を活かし、福祉・医療現場において、社会と生活者に関わるものとしての広い視野を身に付けることができる学びを提供します。
4. ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク演習を通じて、経験から学ぶ力を身に付けます。

アドミッションポリシー

社会福祉士・医療ソーシャルワーカー学科は、社会福祉士およびキャリアコンサルタント国家資格を取得する強い意志と福祉・医療分野に関心を持つ以下のような入学者を受け入れます。

1. 社会福祉士およびキャリアコンサルタントを目指す明確な動機を持ち、目標を達成するための努力ができる人。
2. 福祉・医療業界で活躍し、社会に貢献したいと考えている方。
3. 自ら学び、考える力を養う能動型の授業に取り組むに必要なコミュニケーション能力を持つ人。